

付託された令和7年度一般会計補正予算第1号は、 総務産業・文教厚生の常任委員会で慎重に審査

総務産業委員会

企画観光課関連の主な補正と質疑

企画費では、村長の公約実現を目指す「南阿蘇未来会議事業」や、合併20周年を記念する村のイメージキャラクター制作費が計上された。立野ダム展望施設等を拠点とした集客・賑わい創出事業では、熊本地震の被害を受けた立野地区の活性化を目指し、動画作成や案内板整備などが盛り込まれた。

外国人留学生支援事業では、留学生増加に伴う家賃補助などの不足分が補正された。委員からは、入居先のアパートに偏りが見られるため、平等な情報提供の必要性が指摘された。また、ふるさと納税のPR費用については、国の「50%ルール」を遵守しつつ、村全体の観光PRを強化するため、一部予算を観光費に組み替えることが説明された。

総務課関連の主な補正と質疑

総務費では、「防犯パトロール車購入」に国庫補助金が充てられる。合併20周年記念事業の実行委員会への助成金は、物価高騰を考慮し、前回の10周年事業より約3割増で計上。職員の負担軽減のため、実行委員会に事業を一任する方針である。消防団連絡体制のデジタル化事業では、国庫補助金を活用したアプリ導入により、火災時の情報共有と初動の迅速化が図られる。ランニングコストについても、今後の国からの補助が検討される見込みである。

建設課関連の主な補正と質疑

道路橋梁維持費では、熊本地震の影響も踏まえ、約10年ぶりに「道路長寿命化修繕計画策定業務」が実施される。老朽化に伴う道路・橋梁の補修工事や、物価高騰による増額補正も含まれている。河川維持費では、赤迫川河川改修設計委託や、4河川の浚渫工事、さらに明神川と垂玉川の河川改修工事が計画されている。特に、立野旧国道線の陥没箇所については、九州電力関係車両の通行による影響の有無について確認を求める意見があり、村側は調査を行うと回答した。

文教厚生委員会

教育委員会関連の主な補正と質疑

放課後学習支援講師謝金189万円、高森高校への振興費補助100万円、久木野小・南阿蘇西小のLED化工事140万円、学校給食費半額補助（小学校152.8万円・中学校87.2万円）および赤牛メニュー補助、修学旅行費補助（小学校135万円・中学校280.8万円）を計上。社会教育では、移動図書人件費47.5万円、図書購入32万円、管理システム更新115.1万円、デジタルサイネージ26.2万円、LOOP下水配管工事550万円、中学校部活動消耗品70万円も提案された。

子育て支援課・保育所関連の 主な補正と質疑

久木野保育園で法面補強、雨漏り対策、雨よけひさし、LED交換工事、長陽保育園で靴箱購入。産後ケア費として助産師会手数料2万円、宿泊型委託料（3万円→4.71万円×10回）を増額。

健康推進課関連の主な補正と質疑

いきいき入浴券事業（70歳以上に200円券×90枚、予算510万円）、医療機関等物価高騰支援387.4万円、带状疱疹ワクチン登録枠追加のシステム改修84.7万円を計上。

定住促進課は、地域伝統行事に最大5万円補助、危険空き家撤去を補助率4/5・上限120万円で支援。

住民福祉課関連の主な補正と質疑

マイナンバーカード業務人件費320万円、民生委員関連に伴う経費98.8万円、低所得者給付システム改修110万円、LPガス世帯支援給付費1390万円、障害者施設光熱水費補助39万円を盛り込んだ。

審議の結果、議案第31号 令和7年度南阿蘇村一般会計補正予算第1号は、両委員会ともに全員賛成で可決された。